

支部紹介

今年度の「企画ページ」は「支部紹介」と題し、様々な各地の支部や教室の様子を紹介することになりました。多くの情報を発信していただき会員の皆様の書に対する取り組みへの一助となれば幸いです。

ひろ支部 佐藤 游翠

御下命により僭越ながら、「ひろ支部」の紹介をさせていただきます。

〈地域性〉

JR京浜東北線・武蔵野線の南浦和駅西口から徒歩十五分の、埼玉県さいたま市南区文蔵ぶせうの住宅街に、ひろ支部（游翠書道院）の稽古場があります。埼玉県の



地元の神社の神額と旗の揮毫
(佐藤游翠揮毫)

南東部に位置するさいたま市は政令指定都市で、県庁所在地でもあります。東京近郊の為、交通の利便性に優れ、また豊かな自然もあるまちです。高い教育力も特徴で、スポーツや健康の取組も盛んです。南区は市内で最も人口の多



游翠書道院看板(梶田越舟先生揮毫)

い地区です。

〈稽古〉

約二十七年前、当時の私の先生に後押しされ、自宅で稽古を始めました。上の娘と下の双子の娘達、その友達計七名からのスタートでした。現在は約一〇名となっております。この他、近くの幼稚園で書き方教室も行っています。高校で書道を教えていた次女が結婚を機に稽古を手伝うようになり、他の二人の娘も学生の書き初め練習の時などは一緒に指導します。

稽古は、月、火、水、土曜日で、一般部・ペン字・中学生は月二回、小学生と幼児は基本月三回です。内容は、全書芸誌を中心に、一般部は古典を勉強します。条幅は「条



添削指導

幅タイム」を設け、作品を壁に掛けて皆で鑑賞します。ペン字は実用的に使えるように練習し、学生部は、毛筆はその場で説明しながら各人に手本を書いて筆遣いを見てもらい、書き方は本を見てノートに練習した後、手本を渡し清書します。学校の硬筆展（埼玉県）や夏休みの毛筆自由課題、書き初めにも対応し練習します。

〈全書芸の行事参加〉

ひろ支部では、全国書初大会、席書会、講習会、春秋の学生部昇段級試験（春はペン字含む）、全国書道コンクール、全書芸展に参加を促し、意志高揚を図り、全書芸の発展にも微力ながら貢献していく所存です。全国書道コンクールでは、近年支部として優秀賞を頂けるようにもなりました。



条幅タイムと稽古風景

〈目標・課題〉

地域の方々に書を広め、親しんで頂くこと、そして書を将来へ伝達、継承して行くことが目標です。ユネスコ無形文化遺産登録に向けての動きは、書道にとって明るい兆しになるのでは

一般部全員集合写真



書き初め練習

ないかと思われ
ます。課題とし
ては、師範取得
後の書の継続で
す。本当の書の
魅力を体感して、
如何に生涯学習
としての認識を
持つて頂くか、
私自身の勉強、
指導の研鑽も積
んで参りたいと
思います。